

大牟田市立吉野小学校

1 本校のESDの特徴

本校では、平成24年度から、生活科・総合的な学習の時間を中心に、学習のテーマを「エネルギーを軸とした環境」「我が国の地域の文化・歴史等と外国の文化歴史等について理解を深める国際理解」「自分の命・成長や福祉について理解を深める生命（いのち）」に重点化して持続可能な開発のための教育（ESD）に取り組んできた。

これまでの実践を通して、友達よさを実感したり、地域への愛着を深めたりすることができてきている。これは、友達と協働で課題解決を図る場面を仕組んだり、ESDの視点から地域にある素材の教材化を進めたりしてきたからであると考えられる。さらに、持続可能な社会づくりに必要な能力や態度を「問題解決力」「伝え合う力」「関わる力」「行動力」に整理するとともに、発達段階ごとに具体化して授業づくりに生かし、成果が見られてきた。そこで、さらにESDでめざす能力や態度を育むために、子どもたちが思考力を大いに発揮し、コミュニケーションの活性化を図って課題追究できるように、子どもたちの主体的・協働的な学びを大切にした体験的活動を位置づけた学習展開を工夫し、くいく。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- 1年 「むかしのあそびをたのしもう」「たのしもうあき」「だいすきななつ」「さあみんなできかけよう」
- 2年 「吉野のすてき見つけよう」「おいしい野菜を育てよう」「これまでのわたしこれからのわたし」
- 3年 「有明海の生き物を守ろう」「町の工夫見つけ隊」「昔からの手作りおやつ調べ隊」
- 4年 「生き生きビオトープ大作戦」「住みよい吉野のまちづくり大作戦」「2分の1成人式をしよう」
- 5年 「思いをつなげ吉野小桜プロジェクト2017」「守ろう環境！白銀川・隈川探検隊」
- 6年 「平和な世の中を築こう」「大牟田の未来をえがこう」「プロフェッショナルたちの生き方に学ぼう」

3 特徴的な活動事例

<5年生 総合的な学習の時間 単元名「思いをつなげ吉野小桜プロジェクト2017」（27時間）>

(1) 目標

吉野小学校のシンボルである桜に対する先輩や地域の方々の思い・願いについて取材して自分の考えをつくり、地域に多様な方法で発信したり、友達や地域の方々と協働で桜を通した町づくりについて考えて実践したりすることを通して、地域に誇りを持ち、地域の今やこれからの未来について考え、地域に貢献したいという思いを持つことができる。（相互性、多様性、責任性、連携性）

(2) 実践の展開

①学習課題をつかむ。

- ア) 桜プロジェクトについて知る。
- イ) 6年生との交流会を行い、学習課題を設定する。
 - ・どんなこと
 - ・どんな思い
 - ・成果と課題

②吉野の桜の歴史やそれに関わってこられた方々の思いや願いを調べる。

- ア) 課題に応じて情報収集を行う。
 - ・校章に込められた思い
 - ・開校当時の様子、思い
 - ・桜とはどんな植物
- イ) 調べたことを整理し、吉野の「桜」について友達や地域と考えを交流する。



【「桜で繋ぐ絆プロジェクト」の方々との交流】

り) 桜や地域についての考えや思いを夏祭りで発信する方法を考え、実践する。

③桜でつながる、吉野の町づくりを実践する。

ア) 吉野夏祭りをふり返り、成果と課題を共有する。

イ) 桜を通した町づくりについて『絆プロジェクト』の方々と交流し、目的を共有する。

ウ) 共有の目的を達成するための活動について、計画する。

エ) 課題をよりよく解決していくために、実践を行う。

④桜プロジェクトと絆プロジェクトの活動をたくさんの人に発信する。

(3) 子どもたちの様子

これまでの先輩の活動を調べていく中で子ども達は、この素晴らしいプロジェクトを受けつぎ発展させていきたいという思いを持ち、本年度のテーマを「思いをつなげ！！吉野小桜プロジェクト2017」と決定した。桜の校章に込められた思いを当時の先生から受け取ったり、地域の方とこれからの町づくりについての交流を通して、地域の方の思いに触れたりすることを通して、子ども達は、プロジェクトへの思いを深めていくことができた。

本年度は、桜の美しい町・元気な町・つながりのある町の3つのグループに分かれて取り組んだ。地域の方からは、「みんなで手入れをして、百年桜を目指しましょう。」と温かい言葉を頂いた。

また、地域の方と共に桜の苗木を植樹することができ、喜びを分かち合うことができた。



【吉野夏祭りのみこし】



【地域の方と共に植樹】

<つながろう集会> (月1回 第3月曜日)

(1) 目標：「友達と地域と世界とつながろう」を合い言葉に本校のホールスクールアプローチの理念を生かせば持続可能な学校文化の構築が出来る。

(2) 実際の展開：各学年・近接学年ごとにE S Dや気候変動に関する内容の交流・発信を行う。保護者や地域の方にも公開する。

(3) 子どもたちが課題意識を持つような、問いかけになるような内容であった。低学年は、氷が少なくなって生存危機にあるホッキョクグマについて、中学年は、近年の温暖化について、高学年は、気候変動による人間生活への弊害について話したことは、気候変動と自分たちの生活の関わりに気づくきっかけになった。



【つながろう集会：2年生】

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・吉野小のシンボルである桜を通して、友達や地域の方々と積極的に関わり、学校や地域の一員として、よりよい学校・地域づくりに参画する喜びを実感し、自己の生き方を追求することができた。
- ・つながろう集会での学習内容の共有や他校へ発信をしたり、活動の振り返りを行わせたりして自己の見方や考え方の高まりを実感することができた。

○課題

- ・行動の変革というねらいを達成するために、全教育活動を通したホールスクールアプローチを強化し、持続可能な社会に担い手を育むE S Dを展開していくこと。